

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営かんがい排水事業	A
整理番号	23-2	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	かんがい排水施設の新設又は更新	
市町村名	松本市、塩尻市	
箇所名	(四ヶ堰2期地区)塩尻市広丘	
事業年度	平成23年度～平成28年度	
		配慮した項目 20 = 100% 配慮する全項目 20
事業概要		
目的	用水路造成後50年以上が経過し、老朽化により漏水等が発生しているため、用水路を改修して農業用水の安定供給を図る	
事業概要	用水路工 L=1,540m 沈砂池 1箇所	
関連する事業計画	県営かんがい排水事業(四ヶ堰地区 平成18年度～平成22年度)	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地 農振法の農業振興地域	
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
水環境	【水質汚濁の防止】	
	・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。	適正に実施
地形・地質	【改変面積の最小化】	
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施